第２課　私達が行う選択

【暗唱聖句】

「もし主に仕えたくないというならば、川の向こう側にいたあなたたちの先祖が仕えていた神々でも、あるいは今、あなたたちが住んでいる土地のアモリ人の神々でも、仕えたいと思うものを、今日、自分で選びなさい。ただし、わたしとわたしの家は主に仕えます。」ヨシュア24：15

【日曜日・自由意志、自由選択】

神様は人間に自由意志をお与えになり、自由に選択することができるようにしてくださいました。エデンの園に善悪を知る木があったのは、その自由意志による選択をわたしたちがどのように用いるのかを、神様を大切なことと考えておられたからです。ある教会では神様は初めから救われる人と救われない人を選んでおられると考えます。しかし、この考えが正しくないのは、神様が与えてくださった人間の選択の自由を無視しているからです。では、なぜ次のような御言葉があるのでしょうか。

「天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました」エフェソ1：4。

ここを読むと天地創造の前に神様はわたしたちを選んでくださったとあります。これほど感動的な言葉はありません。しかし、この言葉は裏返せば、救いに選ばれない人もいるということでしょうか。また次の御言葉はどうでしょうか。

「神がわたしたちを救い、聖なる招きによって呼び出してくださったのは、わたしたちの行いによるのではなく、御自身の計画と恵みによるのです。この恵みは、永遠の昔にキリスト・イエスにおいてわたしたちのために与えられ、今や、わたしたちの救い主キリスト・イエスの出現によって明らかにされたものです。キリストは死を滅ぼし、福音を通して不滅の命を現してくださいました。」テモテへの手紙二1章 9、10節

これらの聖句は、神様は一部の人たちを選んで、一部の人を滅びに定めたと解釈するのではなく、神様はすべての人が救われるように計画し、選んでくださったと解釈すべきです。しかし、それを自由意志が与えられた人間は拒むことができるのです。神様は永遠の御国を強制はなさらないからです。

たとえば、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい」（マタイ22：37）と、ここに神様を愛することが求められています。しかし、愛は強制されるべきものではありません。強制されたからといって愛せるものではないからです。イエス様との関係の中で、神様への愛が湧き上がり、救われることへの喜び、選ばれたことへの感謝が生まれるのです。

【月曜日・正しい選択をする】

神様が人間に自由な意志と選択をお与えくださった以上、わたしたちは正しい選択をしなければなりません。なぜならば、良くも悪くもその選択の結果を身に受けることになるからです。では、どうすれば正しい選択をすることができるのでしょうか。

1. 祈ること

「絶えず祈りなさい」テサロニケの信徒への手紙一5章 17節

「あなたがたの中で知恵の欠けている人がいれば、だれにでも惜しみなくとがめだてしないでお与えになる神に願いなさい。そうすれば、与えられます」ヤコブ1：5

＊正しい選択をするために、まず行うべきことは祈ることです。祈りの中で、神様が正しい選択へと導いてくれます。

1. 御言葉

「あなたの御言葉は、わたしの道の光、わたしの歩みを照らす灯」詩篇119：105

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です」第二テモテ3：16

＊聖書の中に選択の答えがあることを少なくありません。

1. 御言葉に従うこと

「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである」マタイ7：24，25

「お前たちが進んで従うなら大地の実りを食べることができる」イザヤ1：5

＊聖書の言葉を実行しましょう。

1. 主に頼ること

「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる」箴言3章6節

「主は常にあなたを導き、焼けつく地であなたの渇きをいやし、骨に力を与えてくださる。あなたは潤された園、水の涸れない泉となる」イザヤ58：11

　＊自分の分別に頼らず、主に頼ることが大切です。このことを私たちはついつい忘れがちです。

1. 熟考し、相談すること

「相談しなければどんな計画も挫折する。参議が多ければ実現する」箴言 15章22節

「戦争には指揮する力が必要であり、勝利を得るためには作戦を練るべきだ」箴言24：6

＊性急に答えを出すのではなく、よく考えましょう。時にはよき助言者の助けを借りることも大切です。

【火曜日・友人を選ぶ】

人生の重要な選択の一つが友人の選択です。意識しなくても、友人は自然にできるものかもしれませんが、意識しないと間違った選択をしてしまう可能性こともあります。聖書の中にも友について色々書かれてあります。

1. 「神に従う人は友よりも好運である。神に逆らう者の道は人を迷わす」箴言12章 26節

　　神様に従っている人かどうかが一つのポイントです。神様を信じているかどうかではなく、神様の教えに従っているかどうかです。神様のことを知らなくても、良心に従って神様の道を歩んでいる人もいます。しかし、神様に逆らった生き方をしている人は、他人をも神様の道から迷わすようなマイナスの影響を与えることがありますので注意が必要です。

1. 「どのようなときにも、友を愛すれば苦難のときの兄弟が生まれる」箴言17章 17節

　　聖書は友達を大切にしなさいと教えています。友達を大切にするならば、苦難のときに助けてくれるからです。

1. 「友の振りをする友もあり兄弟よりも愛し、親密になる人もある」箴言 18章 24節

一口に友達と言っても、表面的な付き合いだけの関係もあれば、兄弟以上の関係もあります。本当の友を見分ける必要があります。聖書の中では、ヨナタンとダビデの友情物語が有名です。

1. 「怒りやすい者の友になるな。激しやすい者と交わるな。彼らの道に親しんで、あなたの魂を罠に落としてはならない」箴言22章 24、25節

　　怒りやい短気な人とは関わるなと教えています。

【水曜日・人生のパートナーを選ぶ】

人生の選択の中で、最も重要と言っても過言ではないのが伴侶の選択です。日本における離婚の割合は、1970年には約10％だったのに対し、現在は35％となっています。つまり、3組に1組は離婚しているということです。離婚の原因は様々でしょうが、彼らはパートナーの選択が間違っていたのでしょうか。それともお互いに忍耐が足りなかったからなのでしょうか。いずれにしても、離婚の結果は辛いことが多いです。伴侶を選ぶときには、本当に神様に祈り、神様の導きの中で選ぶことが大切です。

「悪を避け、善を行えばとこしえに、住み続けることができる」詩篇37：27

「自由をもたらす完全な律法を一心に見つめ、これを守る人は、聞いて忘れてしまう人ではなく、行う人です。このような人は、その行いによって幸せになります」ヤコブの手紙1章 25節

パートナー選びはとても大切なことですが、結婚後の生活はもっと大切です。お互いに善を行い、律法に正しく生きていくならば、幸せになると聖書は約束しています。

【木曜日・進路を選ぶ】

「わたしは顧みた。この手の業、労苦の結果のひとつひとつを。見よ、どれも空しく風を追うようなことであった。太陽の下に、益となるものは何もない」コヘレトの言葉2章 11節

職業の選択も、人生の選択においてはとても大きなものです。わたしたちは日ごとの糧を得るために、額に汗して働かなければなりません。しかし、どのような働きに就くかについては、わたしたちは選択ができます。選択の範囲は限られているかもしれませんが、それでも強制されることはありません。ソロモン王は王として労苦した結果、色々なものを手に入れました。それは楽しいものでしたが、後から顧みるとどれも空しいと言いました。なぜ、空しさを感じるのでしょうか。それは自分のための労苦だったからではないでしょうか。もし、王として人民の幸せをいつも見て、人々から愛されていたら、少しは違ったかもしれません。職業を選ぶにあたって、自分の興味や能力を考慮すると同時に、神様の栄光となる働きに就くことができるなら幸いです。